



ボランティアって何だろう

5月23日（月）の全校集会で、半田市社会福祉協議会の川南さんが、ボランティアについて話をしてくださいました。ボランティアについて、考えてみてください。

（以下、抜粋）

私たち社会福祉協議会は、皆さんを含めた地域の人が、毎日を笑顔で過ごすにはどのようなことをすればよいか、何が必要かを皆さんと一緒に考え、皆さんと一緒に実行に移していくお手伝いをしている団体です。

少し想像してみてください。皆さんが、今、住んでいる地域がいつも笑顔であふれていて、ずっとそこに住み続けたいと思うまちはどんなまちでしょう。

現在は、おたがいさまのささえあい活動として、「やなべお助け隊」と「住吉ささえたい」（SuSaT:スサット）が活躍しています。自分のできることを地域でお手伝いする。次は、自分が手伝ってもらうことがきっと出てくる。その時はよろしく、おたがいさまで楽しんで続けていこうと活動しています。

今、地域で活動している人は、こんなことを思っています。

「活動は続けたいし、ずっと続いていてほしい。もっと多くの人たちがつながりながら、この活動ができればどんなに楽しくささえあい活動ができるだろう。中学生ともぜひ一緒に活動したい。一緒に地域のためにボランティア活動をしながらつながり、楽しい毎日を過ごしたい」・・・

そこで、2つの活動を紹介します。

まずは、近くでいつでも出かけられて、楽しくお話できる場所があるといいという意見から生まれた居場所（サロン）についてです。そこには、外出する楽しみ、そしてボランティアでお手伝いできる喜びがあります。現在、半田中学校区の4小学校区には、ほぼ毎日開いて地域のボランティアさんで運営している場所が1カ所ずつあります。大人も子どもも誰でも行ける場所で、いつでも笑顔と元気な話し声であふれています。

次に、今、住んでいるところで、少し手伝ってもらえば気持ちよく生活が続けられる人へのお手伝いです。例えば、電球の交換や庭の草取りのお手伝いです。

このように、地域で行っているボランティア活動は、無理をせず、できることでささえあう。相手のことを思いながら話を聞いたり動いたりする。約束や秘密は守る。こんなことに気をつけながら、「おたがいさま」「ささえあい」として活動しています。

地域の方は、皆さんと一緒に活動できたら本当にうれしい、楽しさが倍増すると言っています。皆さんも地域の人と一緒にボランティア活動を試してみませんか。お待ちしております。

半田中学校では、すべての人を大切にする活動として、ボランティア活動を年間通じて取り組むこととしました。5月8日(日)は、半田赤レンガ建物の清掃活動を呼びかけたところ、92人の生徒が集まってくれました。本当にうれしかったです。

ボランティア活動は、「サービスラーニング」だと考えています。人の役に立つ活動をした後に得られる気持ちこそ、尊い学びだと思えます。

半田中学校おもいやり算とは、+は助け合う、-は引き受ける、×は声をかける、÷は分け合うです。それは、人を笑顔にします。



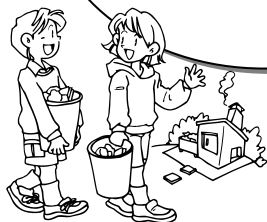
いつでも・どこでも・誰でも

ボランティア活動は、福祉の分野に限らずとても幅広いものです。皆さんの関心、技術、状況、生活条件、活動を行う時間、場所、頻度、回数、方法などで、さまざまな参加形態が考えられます。自分に合った活動を、計画的に継続性をもって行ってみましょう。



社会性・連帯性

特定の個人や団体の利益のためではなく、広く社会のために行う公共性のある活動です。



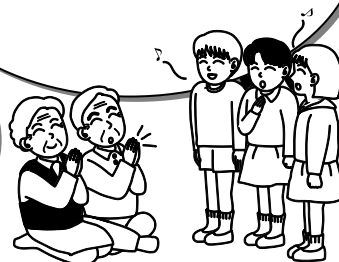
自主性・主体性

他から、強制・強要されることなく自分自身が主体的に考え、自らの意志のもとに実践にあたりましょう。



無償性・無給性

むくわれることを期待したり収入を得るための活動ではありません。



ボランティア活動の4つの原則

創造性・開拓性・先駆性

今何が必要とされているか自由な発想やアイデアを大切にしながらよりよい社会を創る活動です。

- ・自分にできる活動、したい活動は何か考えましょう。
- ・普段の生活の場の中で活動したいのか、地域へ出て活動したいのか考えましょう。
- ・どんな人のための活動がしたいのか、何のための活動がしたいのか考えましょう。

